



Data

監督・脚本・製作：デヴィッド・エアー

製作総指揮：ブラッド・ピット

出演：ブラッド・ピット／ローガン・ラーマン／マイケル・ペーニャ／ジョン・バーンサル／シャイア・ラブーフ／ジェイソン・アイザックス／スコット・イーストウッド／アナリア・マリカ／アリシア・フォン・リットベルク

👁️👁️ みどころ

ブラッド・ピットの男臭さ全開の戦車モノは、密室モノの面白さがいっぱい！5人の男たちの一体感と、ティーガー戦車との対決の迫力をしっかり味わいたい。

他方、新兵教育のあり方はこれでいいの？また、制圧した村で美しい女性を発見した後の対応は？そこにみる人間ドラマは？

アカデミー賞はムリだろうが、一級の娯楽作として必見！

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■一瞬『戦火の馬』の再現か？と錯覚！■□■

本作は「フューリー」と名付けられたアメリカのシャーマン戦車で、ナチス・ドイツ軍と戦った男にブラッド・ピットが扮した感動的な戦争映画。そんな予備知識で劇場に入ったのに、冒頭スクリーン上に登場してくるのは、白馬に跨った1人のナチス将校だ。最初は小さかったその姿が少しずつクローズアップされるにつれて、丘の上から少しずつ観客に近づき、その姿が大写しになってくる。アレレ、この映画は『戦火の馬』（11年）（『シネマルーム28』98頁参照）の再現・・・？

そう思っていると、一瞬ブラッド・ピット扮するドン・コリアー軍曹がこの男を襲い、瞬時に殺害。その後、カメラは荒野に面々と広がる、破壊されたシャーマン戦車の群を映していく。コリアー軍曹は、この中の1輛の上から突然白馬に乗ったナチス将校を襲ったわけだが、今コリアー軍曹の乗っている戦車の中では、副操縦士が「名誉の戦死」を遂げたものの、全力で故障箇所を修理しており、まもなく動き出すことができるらしい。そして大量に破壊されたシャーマン戦車群の中から1輛だけ動き始めた「フューリー号」は、

何とか本隊に合流することに。そこで必要最小限の整備と補給を行った後、コリアー軍曹とフューリー号に与えられる任務とは・・・？

本作冒頭のスクリーンに映し出される、この2つのシーンのコントラストがすばらしい。コリアー軍曹によって長い顔を撫でられた白馬は、お尻をポンと叩かれて後方に戻っていたから、これ以上『戦火の馬』のような過酷な任務につくことはないが、逆にコリアー軍曹たちには更に過酷な任務が待っているはずだ。



© 2014 Norman Licensing, LLC. All Rights Reserved.

■□■ 5人のチームワークは？突然の新兵はどんな奴？ ■□■

本作では、ナチス・ドイツが誇る強力なティーガー戦車と、コリアー軍曹率いる3輦のシャーマン戦車との対決が後半の1つのクライマックスになるが、その乗員は双方とも5人だ。フューリー号の車長コリアー軍曹は、アフリカ戦線、フランス、ベルギーでナチス軍と戦い、ノルマンディ上陸作戦で上陸した後、ベルリンに向けて侵攻を続けている歴戦の勇者だ。そんなコリアー軍曹に対して「命を守ってくれるから」という一点で絶対的な信頼を寄せる乗員は、①牧師の息子ゆえに信仰心が厚く、冷静沈着な砲手パイブル（シャイア・ラブーフ）、②いつも酒浸りだが、操縦の腕前は一流のゴールド（マイケル・ペーニャ）、③粗野なお調子者だが勇氣は人一倍の装填手クーンアス（ジョン・バーンサル）だ。

彼らの言動を見ていると、いかにも粗野で荒々しいが、そりゃナマの戦場だから仕方ない。黙っていても、逆にバカ話をしていても、この4人のチームワークがバッチリなことはすぐに理解できる。副操縦士が死亡した今、その補充が不可欠だが、本部からの命令で新たに配属されてきたのは、有能なタイピストだが、戦争体験も戦車体験もゼロという18歳の新兵ノーマン（ローガン・ラーマン）。これには、コリアー軍曹はもちろんノーマン自身もビックリだ。戦闘続きの混乱時だから仕方ないといえば仕方ないが、こんな足手まといのような新兵をフューリー号に乗せて、コリアー軍曹はナチス・ドイツとどうやって戦うの？

■□■新兵の教育は？このやり方の是非は？■□■

『兵隊やくざ』シリーズでは、勝新太郎扮する大宮貴三郎二等兵が、『人間の条件』（59～61年）では仲代達矢扮する梶二等兵が、それぞれ古参兵から徹底的にいじめられる（教育される？）風景が執拗に描かれた（『シネマルーム8』313頁参照）。そして、これが「日本陸軍の実態」と観念させられたが、本作ではコリアー軍曹とノーマンの、「教育」を中心とした父子のような人間ドラマが1つの焦点となる。本作では、長い戦いの中で生き抜いてきたコリアー軍曹の、まるで「ヘイトスピーチ」のような反ナチ発言が顕著。また、「ナチは情け容赦なく殺せ」の考えがトコトン徹底していることがわかる。日本中にウジャウジャ繁殖している「良識派」なら、「捕虜に対しても人道的な扱いを！」と言うはずだ。しかし、コリアー軍曹はそんなことはおかまいなしだから、ある意味、非常に出来の悪い軍曹さんかも……。



© 2014 Norman Licensing, LLC. All Rights Reserved.

そんなコリアー軍曹からノーマンが叱り倒されるのは、ノーマンがドイツ兵らしき姿を目撃しながら、少年だったため撃つのをためらったことによって、コリアー軍曹率いる小隊が大被害を受けた時。ノーマンが「貴様、なぜ撃たなかった。武器を持ったドイツ兵を見たら、さっさと殺すんだ」と叱り飛ばされたのは当然だ。しかし、次の戦闘で捕虜にしたナチス将校をまるで「練習用」のように「拳銃で撃ち殺せ」と命じ、嫌がるノーマンに力づくで撃たせるのもいかがなもの？

アメリカは民主主義の国と言われているが、戦争では、そして戦場では、そんなキレイごととはまかり通らず、実態はこんなもの。本作を脚本、監督、製作したデヴィッド・エアは、スクリーン上で冷徹にそう語っているようだが、さてあなたはこの「教育」風景をどう受け止める？近時、アメリカではアブグレイブ刑務所におけるイラク戦争の捕虜たちに対する虐待や拷問の実態が明らかとなり、大きく批判されるとともに、その効用のなさが問題視されている。本作は「アカデミー賞最有力」と宣伝されているが、そんな時代状況の中で、このような「教育」風景を映し出した本作がアカデミー賞に選出されるのは、ちょっと難しいのでは？

■□■一村ずつ制圧！普通そこでは・・・■□■

中国の習近平政権は、1937年の「南京事件」が起きた12月13日を「国家哀悼日」に制定した。そして、本作鑑賞後、自宅で夕刊を読むと、同日はじめての記念行事が、私

も2012年8月に見学した「南京大虐殺記念館」で開催されたことが報道されていた。「南京事件」の中で旧日本軍が非戦闘員を含む多くの中国人を殺害したことは事実だが、「30万人」という数字は事実と反している。それが日本政府の見解だが、中国の見解はそれとは真向から対立。ただ、中国戦線で一つ、また一つと中国の都市を制圧していった日本軍が、そこでレイプ等の行為を行っていたことは紛れもない事実。それを否定することは絶対できないはずだ。



© 2014 Norman Licensing, LLC. All Rights Reserved.

しかして本作中盤では、コリアー軍曹率いる3輦の戦車小隊が、北ドイツの小さな村を制圧する戦闘シーンが見どころとなる。しかし、制圧後は、アパートの一室に潜んでいた美しい未亡人イルマ（アナマリア・マリнка）とその従妹エマ（アリシア・フォン・リットベルク）を発見したコリアー軍曹がそこに乗り込み、どのように振舞うかが焦点となるので、それに注目！こんな状況下、女性2人の部屋に兵士が乗り込んでいったら、普通は・・・。

■□■制圧した村での「ご褒美」は？その人間ドラマは？■□■

バイブル、ゴールド、クーンアスの3人は、我が家同然の戦車の中で、半分合意、半分強制のような形で村の女を順番に「味わって」いた。しかし、イルマの部屋の中ではやけに紳士的に振舞っているコリアー軍曹が選ぶのは、どちらの女？そりゃ、きっと若くピチピチした美人エマの方だろうと思っていると・・・？そこにノーマンが入ってきたのは、コリアー軍曹の計算外？さらに、ノーマンがピアノの上にあった楽譜を見ながら流暢にピアノを弾き始めたのも計算外？イルマにお湯を沸かせと命じたコリアー軍曹は、顔を洗い、ヒゲを剃ってリラックスするとともに、持参したタマゴを料理させて、いざ食事という状況だが、さてその後の展開は・・・？



© 2014 Norman Licensing, LLC. All Rights Reserved.

「戦争映画」では戦闘シーンのスペクタクル性とともにもこのような人間ドラマをいかに描くかが大切だが、さて本作にみる、この一時の男女の語らい（？）をあなたはどう見る？ちなみに、『キネマ旬報』12月下旬号の「REVIEW鑑賞ガイド」で篠儀直子氏は「一方、未亡人と若い従妹のいるアパートでのシ

ーンは、これはこれでよく演出されているいいシーンではあるのだけれど、全体の構成のバランスを明らかに乱して、観る者のノリを尻すぼみにさせかねない」と書き、点数を星3つとしているが、さてあなたなら・・・？



© 2014 Norman Licensing, LLC. All Rights Reserved.

■□■潜水艦が密室なら、戦車も密室！■□■

潜水艦は乗組員50～100名の密室だが、シャーマン戦車は鉄の鎧の中に5名が生活し、戦闘する密室。パンフレットの「PRODUCTION NOTES」には、「劇中に登場する伝説の戦車」という解説があるが、これは必読だ。そこではコリアー軍曹たちが乗るシャーマン戦車とティーガー戦車との対比を含む、戦車同士の戦いのあり方がよく解説されている。これをよく読めば、後半のクライマックスの一つとなる、3輦のシャーマン戦車と1輦のティーガー戦車との「死闘」がよりリアルに理解できるはずだ。

海上における戦艦同士の戦いは、大砲の口径が大きくて射程距離の長い方が攻撃力に勝り、鋼鉄の厚さが厚いほど防御力に勝るのは当然。そんな発想で、日本は世界一の48インチ砲を備えた戦艦「大和」と「武蔵」を建造したが、日清・日露戦争に向けて日本海軍が目指したのはそうではなく、戦艦（正確には巡洋艦）の機動力、つまりスピードと連射性の追及だった。

陸上における戦車同士の戦いは、海上における戦艦同士の戦いと同じ。しかして、シャーマン戦車とティーガー戦車の攻撃能力と防御能力を比べると、ティーガー戦車の方が圧倒的に優勢だが・・・。

■□■私の持論どおり、「密室モノは面白い」 その1 ■□■

「密室モノは面白い」が私の持論。それをもう少し具体化すれば、「潜水艦モノは面白い」や「列車モノは面白い」となる。したがって、潜水艦モノの代表たる『U・ボート（ディレクターズ・カット版）』（97年）（『シネマルーム16』304頁参照）や『Uボート 最後の決断』（03年）（『シネマルーム7』60頁参照）、『K-19』（02年）（『シネマルーム2』97頁参照）、『ローレライ』（05年）（『シネマルーム7』51頁参照）、『真夏の

オリオン』(09年)、『シネマルーム22』253頁参照)や、列車モノの代表たる『イノセントワールド—天下無賊—(天下無賊/A WORLD WITHOUT THIEVES)』(04年)、『シネマルーム17』294頁参照)や『スノーピアサー』(13年)、『シネマルーム32』234頁参照)、これらの私の評価は高い。

今、コリアー軍曹率いるシャーマン戦車が3輛で束になって(?)かかっていったにも関わらず、早くも2輛は破壊されてしまった。しかし、機動力、すなわちスピードでは、シャーマン戦車は42km/h、ティーガー戦車は38km/hとわずかに勝るから、コリアー軍曹はそれを利用して敵戦車の後ろに回り込み、防御力の弱い敵の後面に戦車砲に撃ち込む作戦に。しかし、そんな器用なことが、とっさにできるの?それをやるのが車長の能力であり、それを支えるのが全長7.54m、全幅2.99m、全高2.97mの鋼鉄でできた箱(密室)に入っている5人のチームワークだ。

『モンタナの風に抱かれて』(98年)や『シービスケット』(03年)、『シネマルーム4』65頁参照)、『白い馬/赤い風船』(56年)、『シネマルーム20』253頁参照)等では人馬一体が強調されていたが、本作では密室に入っている5人の乗員と鉄の塊との一体感の有無が勝負のポイントになる。そんな視点から、「密室モノは面白い」という私の持論を、スクリーン上で再確認したい。

■□機雷も怖いが、戦車には地雷が最悪!■□

12月14日は第47回衆議院議員総選挙の投票日で、結果は事前の予想どおり自民党の圧勝。自公連立政権で3分の2を超える議席を獲得することになった。安倍内閣は、今年7月に「憲法解釈の変更の閣議決定」によって集団的自衛権の行使を認容した。その後、少しずつ議論されてきた憲法改正の議論は、今回の投票結果を受けて、来年から少しずつ進むはずだ。

ペルシャ湾における地雷の駆除に日本の海上自衛隊が参加できるか否かについては、既にこれまで議論されてきた。しかし、南シナ海への海軍の進出を強める中国とベトナムが仮に交戦状態になり、中国海軍が周辺海域に機雷をばら撒いた場合、日本の海上自衛隊は集団的自衛権を行使して掃海活動(機雷を取り除くこと)をすることができるの?今後は、そんな実質的(?)な議論が必要になるはずだ。このように、機雷も怖い、戦車が怖いのは機雷ではなく地雷だ。

フューリー号はやっとのことでティーガー戦車を撃ち取り、1輛だけになりながらワゴナー大尉(ジェイソン・アイザックス)から与えられた任務を遂行すべく、連



© 2014 Norman Licensing, LLC. All Rights Reserved.

合軍の進路にあたるクロスロード（十字路）の確保のため同地に向かったが、そこで地雷を踏んでしまい、履帯（走行装置）が壊れてしまったから、さあ大変・・・。

■□私の持論どおり、「密室モノは面白い」 その2 ■□

コリアー軍曹は直ちにその修理にかかるとともに、ノーマンを見張りに立たせたが、のんびり水筒の水を飲み、ビスケットを食べていたノーマンの目に約300人ものドイツの武装SS大隊が映ったから大変。こうなりゃ、動かないフューリー号を捨てて後方に逃げるしかないこと明らかだが、ここでコリアー軍曹はどんな決断を？それは「俺は残って任務を全うする」ということ。これにはノーマンはもちろん、ここまで共に戦ってきたパイブル、ゴールド、クーンアスの3人もビックリ。その理由は「これが俺の家だから・・・」ということらしいが、そりゃいくら何でも無茶だ。そう思っていたが、実はここでもコリアー軍曹が立てた作戦は「戦車は密室である」という特徴を最大限生かした合理的なものだった。

コリアー軍曹の作戦は、フューリー号の上や周辺にドイツ兵の死体を置き、そこに油をしかけ、自分たちはフューリー号の中に息を潜めて待つこと。ドイツ兵は用心しながら、動けなくなった戦車の内部を探ろうとして近づいてくるはずだから、そこで一気に油に火をつけるとともに、すべての銃器を撃ち続けるということ。これはまさに、鋼鉄でできた箱という戦車の密室性を生かした作戦だ。もともと、5人VS300人の戦いだから、当初はそんな奇襲が成功しても、弾が尽きたら逆に戦車の密室性は大きなマイナス要因になるのでは？潜水艦なら音もなく隠れることが可能だが、動けない箱ならそれがいくら鋼鉄で覆われていても、その中の5人の男たちの運命は・・・？戦車のそんな密室性に注目しながら、本作のクライマックスとなるコリアー軍曹の作戦の遂行ぶりをじっくりと鑑賞したい。

もともと、そんな目で見ると、デヴィッド・エア監督が描く、戦い終了後の「あるストーリー」に私は大きな違和感を覚えてしまったが、さてあなたは・・・？ジョン・ウェイン主演の『アラモ』（60年）も、それをリメイクした『アラモ』（04年）は、アラモ砦に立てこもった男たちの壮絶な死がクライマックスを大きく盛り上げていた（『シネマルーム6』112頁参照）が、さて本作の結末は・・・？



© 2014 Norman Licensing, LLC. All Rights Reserved.
価格：¥3,800+税
リリース日：2015年3月18日（水）
発売：KADOKAWA/ソニー・ピクチャーズ
エンタテインメント
販売：株式会社ソニー・ピクチャーズ
エンタテインメント

2014（平成26）年12月17日記